



11月は児童虐待防止推進月間です!

「さしのべた その手がこどもの 命綱」

児童虐待に関する相談件数は、市内でも増加傾向にあります。子どもたちを虐待から守るため、「オレンジリボンキャンペーン」が全国的に展開されています。オレンジリボンは、育児に悩む家庭を支援し、子どもへの虐待をなくそうという運動です。虐待を受けたと思われるお子さんを見つけた時や、ご自身が出産、子育てに悩んだ時は、児童相談所や塩竈市子育て支援課にご相談ください。

児童相談所全国共通ダイヤル ☎0570-064-000

～被災地におけるDV被害者等サポート講座～

DV（ドメスティックバイオレンス：夫など配偶者からの暴力）デートDVなど女性への暴力が大きな問題となっています。この機会にDVをはじめとした家族の問題、セクハラ、パワハラなどの問題とその解決、回復について学んでみませんか？

と き 11月13日(水)10:00～12:00「デートDV・性暴力とは」 ところ 七ヶ浜生涯学習センター大会議室

【相談・連絡先】

相談専用 ファミリーダイヤル ☎364-1178

宮城県中央児童相談所 ☎784-3583 子どもの人権110番 ☎0120-007-110

問・申込 子育て支援課(家庭児童相談) ☎353-7797(内線712)

FAX366-7167 / E-mail jidou-f@city.shiogama.miyagi.jp



シリーズ



村山市との宿泊体験交流 (杉の入小学校)



杉の入小学校では、例年、5年生の自然体験教室を国立花山青少年自然の家で行っていましたが、学習指導要領や志教育のねらいを踏まえて、同校にとって初めての試みである、山形県村山市山の内地区の自然体験交流施設「やまぼと」を拠点とした体験交流重視の宿泊学習を実施しました。山の内地区や「やまぼと」も大人数の宿泊学習を受け入れるのは初めてで、昨年度から担当者同士の打ち合を繰り返し、本番を迎えました。

* 塩竈市と村山市は、災害時の相互支援協定が結ばれており、先の震災の際はいち早く支援物資を届けていただいたり、今夏の山形豪雨の際は塩竈市から給水支援を行ったり、そのほかにも、まつり、食文化交流など、これまで様々な交流をしてきました。



◀ 沢遊び

9月11日(1日目)は、沢遊び、山の内地区を一周するハイキング、芋煮会そして地元の富並小学校との交流会を行い、互いの校歌・地域・学校紹介をしました。また、この日は暮点温泉の大浴場で、一日の疲れをほぐしました。



▶ 農家体験

9月12日(2日目)は、宿泊学習の最大の山場である「農家体験」と、キャンプファイヤーを行いました。「農家体験」では、朝から夕方まで、4～5人のグループが1軒の農家にお世話になり、炭窯からの炭出しや大根の間引き、ソバの葉の摘み取り、餅つきやいろいろの魚の串焼きなど、塩竈ではなかなかできない体験を存分に楽しみました。

9月13日(3日目)は、クラフト活動として木のワッペン作りと押し花のしおり作りをしました。木のワッペン作りでは、槐(えんじゅ)の木の輪切りを紙やすりで磨き、絵や文字を書いて3日間の思い出の作品を作りました。3日間の締めくくりとなった別れのつどいでは、思わず涙ぐむ農家のお母さんや、それを見て目を潤ませる子どもたちがみられました。

この活動を経験した子どもたちが将来、塩竈市と村山市の友好の新たな担い手となることを願っています。

問 学校教育課 ☎365-3216